

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
書写	38・光村 書 写	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢を正しくし、文字の形、大きさ、配列などを理解して、読みやすく書くことができるようにするために、画の方向の運びをイラストや音声表現で分かりやすく示し、「おれ」や「はらい」をなぞることで、点画の長短や方向に気を付けて書けるよう配慮されている。</li> <li>○ 児童の発達の段階に対応するため、「調べよう」「たしかめよう」で字形の整え方や筆使いのポイントを確認し、「広げよう」で硬筆練習ができるよう工夫が見られる。</li> <li>○ 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すため、筆記具の特徴を比較しやすい具体例を示した点や、観点ごとに3段階から選択することによって自己評価をしやすくした点に工夫が見られる。</li> <li>○ 自分の課題の発見や学習したことが生活に生かされるようにするため、学校生活における書く場面を取り上げ、目的や用紙に合わせた配列について複数の具体例を示し、作品づくりに生かせるよう工夫されている。</li> <li>○ 3年以上では学習内容によって単元を分け、単元と単元の間や巻末に、充実した資料や発展的な教材を配列したり、学年の学習の見通しを示したりしている点に特色が見られる。</li> <li>○ 教科書の配列として、硬筆と毛筆の学習教材を交互に組み合わせてあることから、硬筆と毛筆の学習が強く結び付いており、文字を書く基礎を身に付けられるようにした点に特色が見られる。</li> <li>○ 点画のつながりを比較させるために、朱墨や薄墨の写真を掲載し、視覚的に捉えることができるよう工夫されている。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"><li>○ 学習のポイントを示したり、理解を助け、課題解決のヒントを与えるキャラクターを活用したりするなど、児童の主体的学習の助けとなるよう配慮されている。</li><li>○ 4年生の巻末には、詳しいローマ字表があり、5・6年生の巻末にも掲載されている。</li></ul>
--	--	--